

スペース ローンチ システム(SLS)1/32模型

スペース ローンチ システム(SLS)は、NASAが開発した全長100m近い超大型ロケットです。月探査「アルテミス計画」の中核を担い、今後半世紀ぶりとなる有人月圏飛行を予定。現在、アメリカとカナダの男女4人の宇宙飛行士が準備を進めています。

2026年2月20日から常設展示(4階)に加わったこの模型(図1)は1/32スケールで、高さは3mに達します。NASA製作による公式模型で、精密なディテールは、燃料パイプや接続部まで見ごたえ十分です。また、着々と更新される最新情報に合わせて解説を随時更新できるように、追加の展示ケースも設置できるようにしています。

ところで、本模型は2025年10月まで、大阪・関西万博のアメリカパビリオンで展示されていたものです。閉幕後、在大阪・神戸米国総領事館を通じて米国国務省より寄贈されました。受贈記念式典では、米国の外交官、NASAアジア代表、そして大阪市長も臨席し、万博で夢を与えたロケット模型が、ここ大阪で引き続き皆さんの心を宇宙へと飛翔させることを祝いました。



図2. 受贈記念式典の様子



図1. 4階で展示開始した模型

万博ロスの方も多いかもしれませんが、あの場所で人々に夢を与えたロケットは、いま大阪市立科学館で来場を待っています。この模型を通じて、宇宙へと飛翔する人類の挑戦と情熱を、体感してください。

渡部 義弥(科学館学芸員)